

**【質問】ラスビック錠の血液透析患者への投与は？**

**【回答】**

血液透析患者への投与に関する情報はありません。

[参考]

●分子量

ラスクフロキサシンの分子量は 439.43 です(ラスクフロキサシン塩酸塩の分子量は 475.89 です)。

●血漿蛋白結合率

ラスクフロキサシン 1.0 及び 10.0  $\mu\text{g/mL}$  の *in vitro* でのヒト血漿蛋白結合率は、それぞれ 74.0%及び 71.2%でした。

●分布容積

ラスクフロキサシン(錠)75mg を健康成人男性 24 例に単回経口投与したときの見かけの分布容積(Vd/F)は、151 $\pm$ 24.7L でした。

●排泄率

健康成人男性 6 例にラスクフロキサシン(錠)75mg を単回経口投与したとき、投与後 144 時間までの未変化体の排泄率は、尿中に 8.38%、糞中に 16.0%でした。未変化体と脱シクロプロピル体の排泄率の合計は、尿中に 39.9%、糞中に 24.9%でした。

(AMX-T103)

出典:添付文書、申請資料概要